

活用場面

BI

自分から選択し活用するヒントカードで、主体的に学ぶ子供の姿を引き出す。

活用したソフトや機能：クラウド共有機能、一覧表示機能

学年：小学校第5学年 教科：算数

単元名：小数のわり算

○ 本時について(4/17)

(1)ねらい

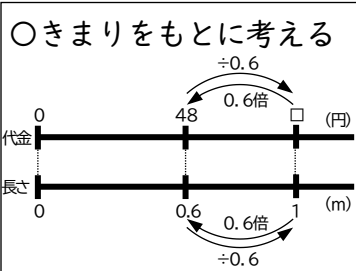
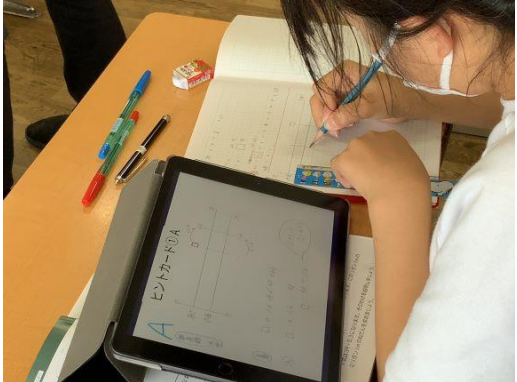
・リボン1mの値段を求める活動を通して、数量の関係を数直線上に表し、除数が純小数の場合でも除法の式に表すことができることに気づき、整数÷純小数の意味を理解し、立式して計算することができる。

(2)評価規準

・整数÷純小数の意味を理解し、立式の理由を数直線図と関わらせて説明して計算することができる。

【知識・技能】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 問題を把握し、学習課題を立てる 48÷0.6でよいと考えたわけを説明しよう	○必要に応じてクラウド上の共有箱にあるヒントカードを参考にする。
	2 自分の考えづくり ・数量の関係を数直線図に表し、どうすれば□を求める式が立てられるのかを考える。	【ヒントカード A】数直線図を使った数量関係の整理を想起するためのカード 第1時の問題の数直線図と□を使った式
展開	○きまりをもとに考える  ○式をもとに考える 逆算の考えを使う $\square \times 0.6 = 48$ $\square = 48 \div 0.6$	【ヒントカード B】立式の根拠となる逆算の考えを想起するためのカード $\square \times 3 = 6 \rightarrow \square = 6 \div 3$
	3 まとめる リボンの長さが1より小さい数で表されていても、1mのねだんを求めるには、わり算を使う。	
終末	4 他の場合でも同じようにできるか考える	
	5 自分一人で解決できるか確かめる ・評価問題→振り返り→練習問題	

活用の際のワンポイント！

- 子供の実態からつまづくポイントを予想し、子供自身で乗り越えることができるような「ヒントカード」の中身を吟味することが大切です。
- 「○○とはどういうことですか?」、「○○さんに説明してみよう。(聞いてみよう。)」など、自分の理解を深めるための学び方を促していきましょう。